

# 「要員確保」、「運転保安確立」、「整備民託粉碎」

## 七八年度 交渉部長会議確認

一昨年の上大会以降、勤労は、闘わない労働組合へと変質した。千葉地本は、この間、この勤労運動の変質を正すべく闘い抜いてきた。今後の具体的闘いについては、第三二回地本臨時大会で四つの路線を軸に労働組合の責務にかけて闘い抜く決意を内外に表明し、併せて、職場生産点における諸要求について全力を上げて取り組むことを決定した。

この臨大決定にふまえ、二月二十六日一〇時、動力車会館において開催された七八年度、地本交渉部長会議は、種々論議の上次のような確認を行った。

冒頭、交渉部長から、この間交渉の経過と今後の取組みについて①将来の要員確保の展望について、②運転保安の確立、③当局よりの整備係民託についての策動粉碎を最重要課題として取り組む決意が明らかにされた。

会議は、この三点をめぐり活発な論議がなされ、大綱次の通り取組むことが確認された。

### 一 千鉄局における

#### 要員展望について

当面する土職の需給関係については、一定の当局見解(交渉ニュースNo.一一)が出されているが、いまだ不確定要素が多く乗務員養成体系確立以降、検修、構内運転関係職について、技術断層が発生している。

それは、乗務員になる一過程として、新規採用者が、検修職、構内職に登用されても、一年半程で乗務員に転出する結果として、車両検修係、構内運転係が階梯職となっているからである。

千葉地本は乗務員養成体系が確立された時点で、この様な事柄が将来かならず発生することを予測して千鉄当局を迫り、一般採用を運転関係職に登用してきたがまだまだ不十分である。今後、速やかに拡大地本分科三役会議を開催して、この技術断層防止のための意思統一をはかる。

### 一 反合・運転保安闘争の

#### 再構築に向けて

船橋闘争をはじめとする第一次反合・運転保安闘争は、五一・七の時点で組合要求通りの時刻修正をかちとる成果をあげ、集約してきた。

しかし、現状における千葉管内の線路状態は、再び悪化する傾向にあり、新たな反合・運転保安闘争を闘わなければならないという立場から千鉄当局を迫りしてきた。

今後、第一段階の取組みとして、千葉管内全線区における線路状態、危険箇所、危険踏切道等の調査を行い、この調査を基に、新たな職場要求として集約をはかり、交渉を強化するとともに、それぞれの節目ごとに闘いを構築する。

## 当局、構内整備係の民託化を提案

千鉄当局は、二月二十七日構内整備係の「民託化」について提案した。

この提案は、東鉄局の動向にもみられるごとく、検修の上廻り作業の「民託化」を指向する国鉄当局の要員合理化計画の一環としてかけられた攻撃であるとの位置付けを明確にし、当面、この構内整備係「民託化」攻撃に対し絶対反対の立場を堅持して闘い抜く。

今春再審却下策動粉碎!  
石川氏実力奪還!

地青三五名で街宣  
2月28日

地本青年部は、二月二十八日、千葉駅頭で午後五時から六時半まで、千葉駅務所にとらわれている無実の石川一雄氏のアピールにこたえ、狭山再審で勝利にむけた全人民の総立ちを訴えた。  
今こそ不撓不屈の石川氏にこたえ、再審貫徹、石川氏実力奪還にむけて全力で闘いぬこう。

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

# 職場要求解決へむけて奮闘しよう